

特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	8億3,220万円	7億9,243万円
介護保険（保険）	4億1,917万円	4億755万円
介護保険（サービス）	37万円	37万円
後期高齢者医療	6,210万円	6,202万円

公営企業会計（水道会計）

区分	収入	支出
収益的収支	1億1,610万円	8,207万円
資本的収支	0円	5,763万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金、及び未処分利益剰余金で補てんしました。

◆健全化判断比率

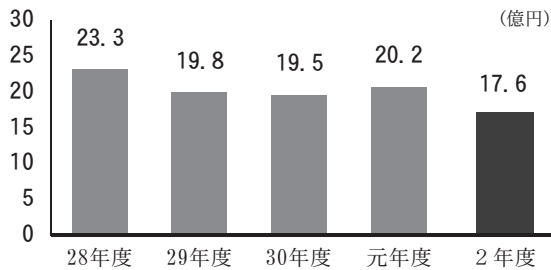
「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は「健全化判断比率」及び「資金不足比率」を算定し、町民の皆さんに財政の健全度を公表しています。鹿部町の財政は全ての指標において国が示す「早期健全化基準」を下回っており、**健全な状態**にあるといえます。

実質公債費比率 2.2%

一般会計などが負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率（早期健全化基準25.0%）

※その他の指標の「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「将来負担比率」、また、企業会計の「資金不足比率」はいずれも**赤字や資金不足がありません**でしたので、数値が生じていません。

基金残高

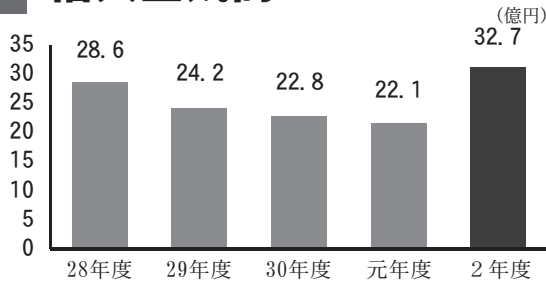


内訳（前年度比較）

財政調整基金	6億4,659万円	(+14万円)
減債基金	3億9,118万円	(+9万円)
公共施設整備基金	1億9,185万円	(-2億9,522万円)
その他	5億3,146万円	(+3,384万円)
合計	17億6,108万円	(-2億6,115万円)

主な増減理由 公共施設整備基金では、役場新庁舎の建設費へ充当するための取崩しにより減額となっています。その他の基金では、国保会計決算剰余金の一部、ふるさと納税の寄附金の一部を積み立てたことによる増額等となっています。

借入金残高



内訳（前年度比較）

政府資金	11億9,333万円	(-1億2,548万円)
地方銀行・信用金庫	20億7,958万円	(+11億9,060万円)
公営企業金融公庫	67万円	(-12万円)
合計	32億7,357万円	(+10億6,499万円)

主な増減理由 政府資金では、償還により残高が減額しました。地方銀行・信用金庫では、役場新庁舎の建設費に対する起債により、残高が大きく増額しました。

町民1人あたりに使われたお金

令和3年3月31日現在人口（3,783人）で算出

総務費

庁舎全体の管理費など

574,634円

民生費

福祉の充実など

124,068円

衛生費

健康推進や清掃事業など

51,160円

農林水産業費

水産業の振興など

36,178円

商工費

商工業・観光など
(ふるさと納税お礼品代含む)

167,156円

土木費

道路や河川の整備など

32,120円

消防費

消防施設・防災など

80,566円

教育費

教育・スポーツなど

63,114円

公債費

借入金の返済など

64,229円

その他

職員の給与など

186,801円